

みんなで作ろう

『癒しと緑の郷』

第2期猿沢まちづくり計画書
令和3年度～令和7年度



猿沢地区振興会

私たちの具体的な取組み

①コミュニティ

「おすそ分けの気持ちをいつも心に」まちづくり



現状	課題	取組・解決策
地区行事・イベント ○ 集まる人はいつも同じ人ばかりで新しい人の参加が少ない ○ 若者の参加が少ない	○ 新しい人や若者への意識づけ ○ 新しいアイデアの募集と取り入れ方法 ○ 満足感が得られるような行事の持ち方(魅力ある行事)	○ 若者が中心となり参加しやすい環境づくり ○ 地区行事(秋祭り、運動会など)の内容を見直し工夫する
役員・組織 ○ 役員のなり手がいない ○ 組織が多すぎる	○ 役員候補者の掘り起こしと育成 ○ 組織の整理と統合	○ 役職の見直しと人材育成を図る ○ 多種多様な意見交換の場を検討
交流の場 ○ 交流の機会や気軽に集まれる場所が少ない	○ 地区住民が気軽に話し合える場所や交流の場の創造	○ 公共の場を開放し、誰でも集える場を検討
情報の発信 ○ 若い世代に地域情報が届いていない ○ 猿沢を離れた人に地区の情報が伝わっていない	○ 魅力的な地域情報の発信が不足している	○ 様々な情報媒体を活用し情報発信に努める ○ 会報発行
商店街 ○ 街に賑わいがいない	○ 商店街の活気不足	○ 猿沢羊羹の後継者の育成 ○ 空き家の利活用(サロン・カフェ・産直等)を検討

②子ども健全育成

「夢語り(さるがたり)」～夢を語れる子どもたちに～

現状	課題	取組・解決策
家庭環境 ○ 同居する若者が少ない(人口は減少でも世帯は増加している) ○ 子供の急な休みなどに柔軟な対応ができていない	○ 核家族化の進行と家庭の持つ保育機能の低下	○ 孫・親・祖父母のふれあいの時間を設け、子育て、孫育てに優しい地区づくりを検討 ○ 子育てに優しい柔軟な体制づくり(職場の受け入れなど)を推進 ○ 親子で参加できるイベントや事業の開催を検討
連携 ○ 保育園、小学校と地区の連携が希薄化している ○ 歴史や伝統行事を伝える場が少ない	○ 子どもが地域行事に参加する機会が減っている	○ 保育園や小学校、中学校との連携を密にする仕組みづくり(学校行事、地区行事に子どもや地区民が積極的に参加できるような体制づくり)



子ども教室で活動する子どもたち



カラオケ交流会

③安心・安全・交通環境

「生涯元気に暮らせるまち 猿沢」



現状	課題	取組・解決策
防災 ○ 自主防災に不安がある ○ 日中に活動できる消防団員が減ってきている	○ 災害発生時の避難・救助方法が徹底できていない	○ 猿沢地区の緊急時対応の仕組みを作る ○ 自主防災の訓練強化の推進 ○ 各家庭で災害バックの作成を検討 ○ 字名程度の標識を作成する ○ 猿沢の電話帳作成をすすめる
交通環境 ○ 立地の良さを活かしきれしていない ○ 交通量が多い ○ 車を止め、休める場所(スタンドを含む)がないため、経過地に過ぎない	○ 交通環境の豊かさの活用が不足している ○ 交通安全意識の醸成	○ 産直の活性化を考える ○ 黄色い旗の掲示運動を推進する
公共交通 ○ 市営バスの本数が少ない(待ち時間が長い) ○ デマンドタクシーの使い方が分からない	○ 運転免許証返納後、使い勝手の良い移動手段 ○ 移動販売など新たな方策も必要	○ 交通弱者のニーズの把握と利用可能な交通手段の情報を発信 ○ 買い物弱者のニーズの把握と利用可能な買い物手段の情報を発信 ○ 配食、ネット企業、販売などのサービスや雇用を検討

④生活・産業・働く場

「交流の場を活かし ～人・モノ・金づくり～」

現状	課題	取組・解決策
生活環境 ○ 商店街が衰退し買い物などが難しくなっている ○ 旧中学校の荒廃が進んでいる	○ 生活環境が整っていない	○ 誰もが気軽に頼める便利屋的人材センターの設置 ○ 市へ早期解体を働きかける
農林業 ○ 農業だけでは生活できない ○ 休耕田や畑をどうしたらいいかわからない	○ 農業の後継者がいない	○ 観光農園経営(区画貸出、共同農業)を検討 ○ 農業研修の開催 ○ 栽培の支援を検討
雇用・就労形態 ○ 産直はあっても年中通して開店できない(品物がない)	○ 産直が上手く活用されていない	○ 産直の活性化を考える(再掲) ○ 加工食の製造販売を推進



農業体験・ふれあい交流会



さるさわ産直

⑤歴史・文化と地域資源

「役者ぞろいのまち 猿沢」

現状	課題	取組・解決策
伝統・文化 ○ 猿沢の歴史を語り継ぐ人がいない ○ 神楽やさんさの後継者が不足している ○ 歴史的価値のある資料が整理、保存されていない	○ 歴史・文化を語り継ぐことが難しくなっているため、後世に残すための記録や保存	○ 猿沢の昔話を資料化し、読み聞かせの動画を映像で保存する ○ 峠神楽、下猿沢伊勢神楽、南部神楽などの紹介用映像を作成し保存する ○ 猿沢八景を活用したウォーキングマップを作成する
名物・名所 ○ 地区の資源が活かされていない	○ 地区資源の有効活用が不足している	○ お新山山頂への展望台の設置と遊歩道の整備による新名所の創造

⑥保健・福祉・医療

「人生の楽園 猿沢」

現状	課題	取組・解決策
独居・高齢者世帯支援 ○ 独居・高齢者世帯の現状が把握できていない ○ 高齢者世帯や独居老人の数が年々増えてきている	○ 支援する側、される側の情報が不足している	○ 高齢者が集まりやすい自治会単位やサロンの活動を独自に開催できるようなお世話人の人材育成や支援の内容を検討する ○ 地区の人材登録(支援をする側)の充実を図りニーズに対応する組織づくりを検討 ○ 相談窓口の充実を図る



猿沢地区振興会

〒29-0431

岩手県一関市大東町猿沢字板倉 57 番地 1
(猿沢市民センター内)

電話 0191-48-3366

F A X 0191-48-3366

E-mail s-shinkokai@sarusawa-yo.jp

U R L <http://www.sarusawa-yo.jp>